

2020年5月24日

教会における新型コロナウイルス感染症対策ガイド 第1版

日本キリスト者医科連盟
Japan, Christian Medical Association (JCMA)

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威をふるっています。全国に緊急事態宣言が出て、会社や学校、公共機関が休みになりました。キリスト教の教会では礼拝自体を中止したり、信徒が各自宅で礼拝したり、ミサや陪餐を中止したりするところもあります。一方で、やや人数が多い中で礼拝を続ける教会もあります。緊急事態宣言は解除されつつありますが、新型コロナウイルス感染症はいつ収束するか見通しが立っていません。教会に信徒が来られない状況をいつまでも続けることはできません。教会が集団感染の元にならないようにしながら礼拝や集会をもつ対策が急務です。このような社会に不安が満ち、生と死が近く感じるような苦境や困難な時や場所にこそ、キリストが積極的にはたらき存在しています。高齢化している日本の教会には新型コロナウイルス感染症は脅威であり、困難な事態であるかもしれません。しかし、ふだん教会に来にくくなる高齢者への対応や方策を積極的に進める機会でもあります。現代における医学・科学的知識に基づいて正しく新型コロナウイルス感染症とその予防法を理解し、キリスト教の福音宣教につなげるために、このガイドを記載します。各教派、各教会で異なる実情があります。各教会で必要な部分を抜き出して使ってください。最新の新型コロナウイルス感染症の情報や各教派の実情にあわせ、改訂版を作ります。ご意見をお待ちしています。

編集：大友 宣

メールアドレス jcma-info@japan-cma.net

<新型コロナウイルス感染症について>

「新型コロナウイルス（SARS-CoV2）」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群（SARS）」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群（MERS）」ウイルスが含まれます。一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。（WHOは、一般に、5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ（約3,000個）が飛ぶと報告しています。）

「飛沫感染」とは、感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染することを言います。

「接触感染」とは感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着しその手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染することを言います。WHOは、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大72時間、ボール紙では最大24時間生存するなどとしています。

新型コロナウイルスでは、症状が明らかになる前から、感染が広がるおそれがあるとの専門家の指摘や研究結果も示されています。無症状であっても人と人との距離をとること（Social distancing: 社会的距離）、外出の際のマスク着用、咳エチケット、石けんによる手洗い、アルコール消毒液（70－80%）による手指消毒、換気といった対策が重要になります。

また、新型コロナウイルス感染症では高齢者がとくに重症化しやすく、高齢化してきている日本の教会は特にクラスターが発生しない対策が必要です。

（厚生労働省新型コロナウイルス感染症 Q&A 参照）

<礼拝の出席について>

- ・ 信徒・教役者にかぎらず、教会に来る前に自宅で体温を測る。下記の場合は、礼拝の出席はしない。各自祈りをもって過す。
 - 1) 体調がすぐれない場合
 - 2) 37.5度以上の発熱がある場合
 - 3) 風邪症状（咳・咽頭痛・呼吸困難感・倦怠感）がある場合
- ・ 礼拝中に上記のような症状が出た場合には退席する。
- ・ 信徒の中で、持病を持っていたり、高齢だったりして礼拝に出ることに不安がある場合には、自宅で各自祈りの時を持つ。教会はそのような方々への配慮をする（下記）。
- ・ 教役者が上記のような症状があり、礼拝できない場合には、信徒で礼拝を

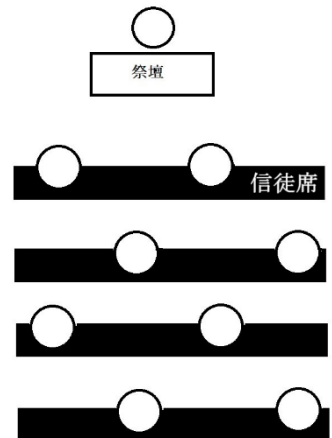
守る。

<礼拝の準備>

- ・ 礼拝（聖餐式）を準備する係（オルターギルドなど）は手洗いや手指消毒を徹底する。
- ・ 礼拝の回数をできる限り多くして分散して教会に来て礼拝を受けるように信徒に促す。（例えば、日曜の礼拝を1日3-4回行う等）
- ・ 幼稚園や保育園がある場合、できる限り利用しない。
- ・ 礼拝堂に入る前に手指消毒または手洗いをできるように準備する。

<礼拝>

- ・ 信徒は自分の祈祷書、聖書、賛美歌集・聖歌集などを各自持参し、教会の備品を使用しない。教会の備品を使う場合には使用後消毒を行う。
- ・ 献金は礼拝前に集めて礼拝中に献金袋を回さないようにする。
- ・ 礼拝当番（アッシャー）が教会に来た信徒に手指消毒または手洗いを促す。
- ・ 信徒は礼拝堂に入る際に、アルコール消毒液（70-80%）による手指消毒、または、石鹼と水道水による手洗いをを行う。手指消毒または手洗いは20秒（*）以上かける。
- ・ 礼拝前後、教会の入り口のドアノブは何回か次亜塩素酸ナトリウム液（後述）またはアルコール消毒液（70-80%）で消毒する。
- ・ 礼拝中、信徒はマスクを着用する。
- ・ 礼拝中、信徒と教役者は咳エチケット（***）を行う。
- ・ 体の接触は控える。握手はしない。
- ・ 礼拝の座席はできる限りお互いに2メートル空くようにする。
- ・ 2メートル空けられない場合には互い違いに座るようにする。礼拝前に互い違いに座れるように印をつけておいても良い。
- ・ 教役者または司式、聖書朗読者などが立って話し、前に座っている信徒がいる場合、2-5メートル飛沫が飛ぶ可能性がある。（World Health Organization: Natural ventilation for infection control in health-care settings. Atkinson J, et al, eds. WHO Publication/Guidelines, 2009.）司会または説教台が信徒席よりも高い場合、さらに飛沫が飛ぶ可能性がある。5メートル以上空いている場合にはマスクを付ける必要はない。5メートル未満の場合にはマスクをつける、または、説教台、司式台にアクリル板などを取り付けるなどの工夫をして、声を出す人の飛沫が信徒席に行かない工夫をすることもできる。



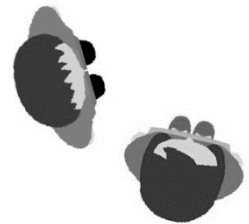
- ・ 教役者または司式は信徒席と2メートル以上離れた場所で、礼拝を行う
- ・ 2メートル以上お互いの距離をあけることができない教会では聖歌や賛美歌は使用しない。
- ・ オルガンでの奏楽演奏のみであれば飛沫は飛ばず、各教会で考慮する。
- ・ 陪餐などで祭壇に向かって一列に並ぶときには前の人と1メートルくらい距離を空ける。礼拝堂の中央通路に印をつけておいても良い。
- ・ 陪餐は、直接共通のチャリス（杯）から口をつけて飲まない。
- ・ 礼拝中は可能であれば1－2時間ごとに5－10分換気を行い、空気を入れ替えるようにする。（新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック）

<礼拝後>

- ・ 礼拝後には礼拝堂の椅子、手すり、ドアノブなど人が手を触れるところは次亜塩素酸ナトリウム液(500ppm***)または、アルコール消毒液(70－80%)で消毒する。次亜塩素酸ナトリウム液500ppmで消毒する時は、「使い捨て手袋」「マスク」着用して消毒する。
- ・ 礼拝中に使用した祈祷書、聖書、賛美歌集・聖歌集は次亜塩素酸ナトリウム液またはアルコール消毒液(70－80%)で消毒する。

<食事や集会>

- ・ 教会の諸集会および食事会(愛餐会)は、可能な限り控える。やむを得ず開く場合は、お互いに2メートル以上離れて、時間を短く、換気を行う。
- ・ 食品や食器を扱う人は手洗い、手指消毒を徹底し、マスク、エプロン、ビニール手袋を使用する。
- ・ 教会委員会や集会を開く場合にはマスクを着けて、2メートル以上離れて話をするか、真正面ではなく90度あるいは並んで話をする。



<礼拝に来られない人／来にくい人への配慮>

- ・ 公共交通機関を使うことが難しかったり、不安を感じる人と自家用車を乗り合わせたり、信徒で手分けしてピストンで送り迎えする。
- ・ 教役者ができる限り信徒訪問を行う。
- ・ 説教などのみ言葉を原稿にするか録音して礼拝へ来られない信徒で希望する方に渡す。
- ・ 信徒が献金を捧げることができるような工夫も考える。

<祈りましょう>

- ・ 新型コロナウイルス感染症のため困難にある方を覚えて祈りましょう
 - 新型コロナウイルス感染症に罹った方とご家族のため

- 感染症対策をしている行政、医療者など様々な職種の方のため
- 仕事を失った方のため
- 経済的に困難にある方のため
- 家庭内暴力の被害にある方のため
- 様々な偏見や誤解の中にある方のため
- 情報が少なく困難を感じている在日外国人のため
- 家族に会うことが難しい方のため

*参考：20秒程度の聖歌は以下のようなものがある。歌い（鼻歌・ハミング）ながら手指消毒または、手洗いしても良い

- キリストの平和が わたしたちのこころの
すみずみにまで ゆきわたりますように
- わたしはなりたい キリストを生きる人に
わたしはなりたい キリストを生きる人
- 恐れるな 煩(わずら)うな 主はともにおられる
満たされる あなたは 神によって
- 主こそ まことの救い 永遠(とわ)の喜び
わが力 わが歌 主のみを信じて 決して恐れない

**咳エチケット（厚生労働省ホームページより）

3つの正しい咳エチケット

1. マスクを着用する。



マスクをつけるときは取扱説明書をよく読み、正しくつけましょう。
鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう。

2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。



口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

3. 上着の内側や袖（そで）で覆う。



※ また、手を洗うことでも病原体が広がらないようにすることができます。

*** 500ppm(0.05%)次亜塩素酸ナトリウム液の作り方（経済産業省ホームページより）

参考

0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方



【使用時の注意】

- ・換気をしてください。
- ・家事用手袋を着用してください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。
- ・商品パッケージやHPの説明をご確認ください。

以下は、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品の例です。
商品によって濃度が異なりますので、以下を参考に薄めてください。

メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター キッチンハイター	水1Lに本商品25mL(商品付属のキャップ1杯) [※] <small>※次亜塩素酸ナトリウムは、一般的にゆっくりと分解し、濃度が低下して いきます。購入から3ヶ月以内の場合は、水1Lに本商品10mL(商品 付属のキャップ1/2杯)が目安です。</small>
カネヨ石鹸	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	水1Lに本商品10mL(商品付属のキャップ1/2杯)
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ	水1Lに本商品10mL(商品付属のキャップ1/2杯)

(プライベートブランド)

ブランド名 (五十音順)	商品名	作り方の例
イオングループ (トップバリュ)	キッチン用漂白剤	水1Lに本商品10mL(商品付属のキャップ1/2杯)
西友/サニー/ リヴィン (きほんのき)	台所用漂白剤	水1Lに本商品12mL(商品付属のキャップ1/2杯)
セブン&アイ・ ホールディングス (セブンプレミアム ライフスタイル)	キッチンブリーチ	水1Lに本商品10mL(商品付属のキャップ1/2杯)

※上記のほかにも、次亜塩素酸ナトリウムを成分とする商品は多数あります。
表に無い場合、商品パッケージやHPの説明にしたがってご使用ください。